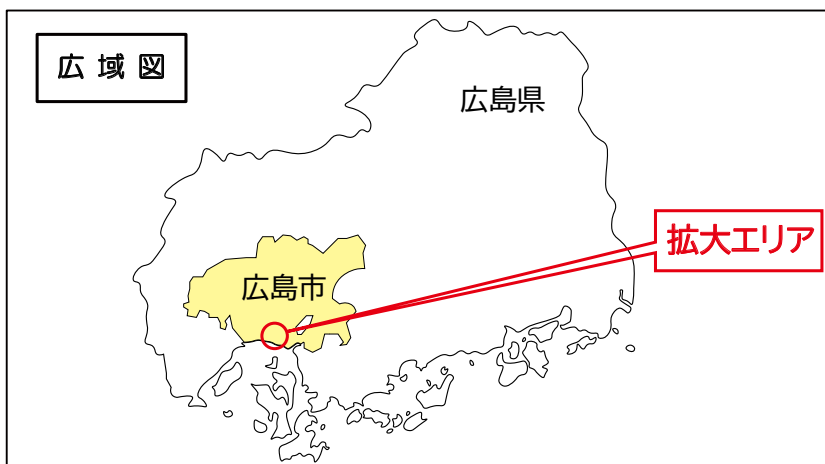
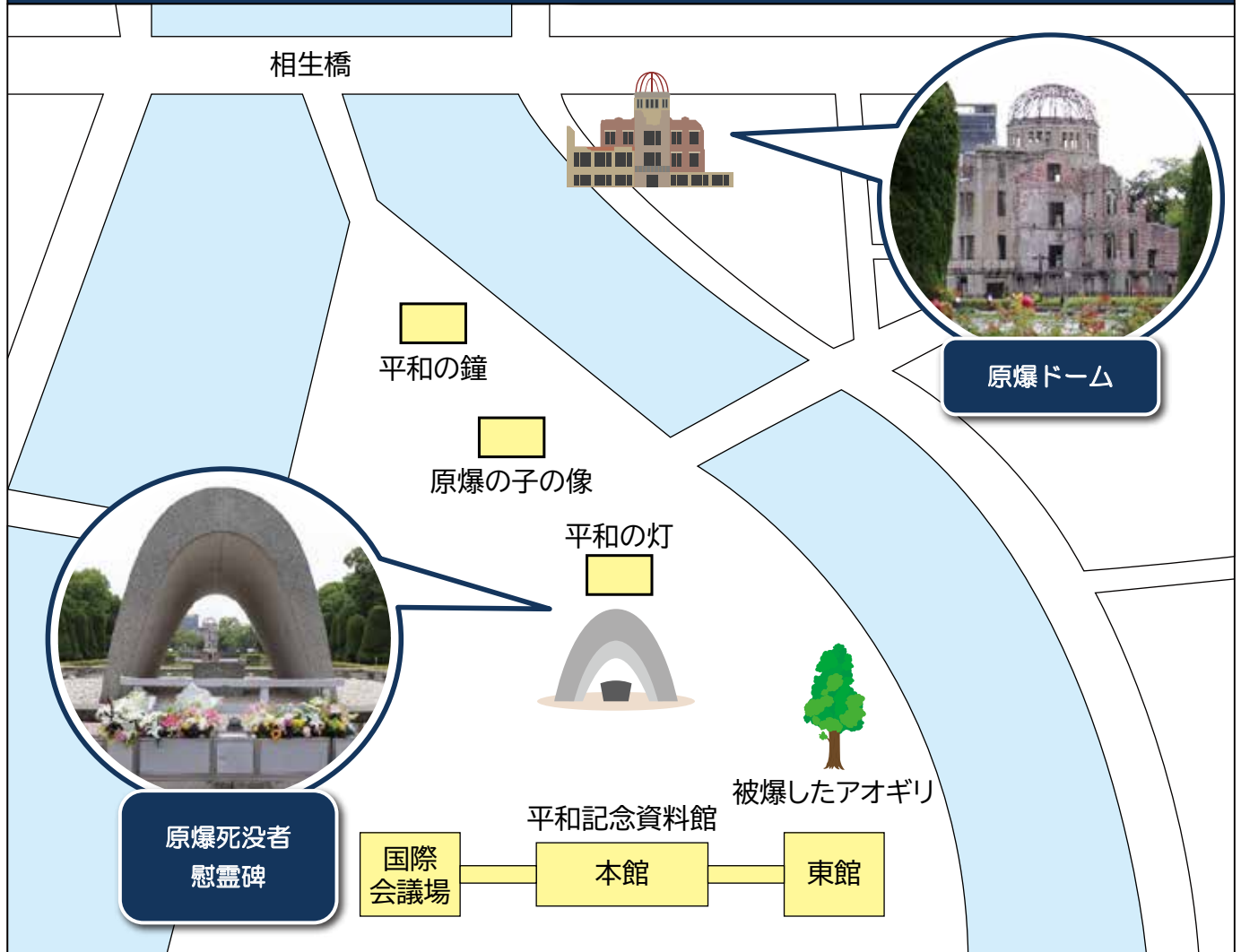


# 被爆地派遣（1日目）

実施日 令和5年8月5日(土)

被爆地派遣1日目は、東京駅から新幹線で広島に向かい、平和記念公園と平和記念資料館を見学しました。平和記念公園では、広島市観光ボランティアガイドの説明を受けながら原爆ドームや慰霊碑等を巡り、平和記念資料館では、当時の写真や実物資料から原爆の実相を学びました。

場所： 広島県広島市



## 東京～広島

①東京駅から新幹線で広島に向かいました。



②最初の訪問先は、平和記念公園です。



③広島観光ボランティアガイドの案内で平和記念公園を巡りました。



④成澤文京区長も平和特派員と一緒にガイドツアーに参加しました。



### 平和記念公園

平和記念公園は、旧太田川（本川）が元安川と分岐する三角州の最上流部に位置し、原爆死没者の慰霊と世界恒久平和を祈念して開設された都市公園です。

この場所は、江戸時代から昭和初期に至るまで広島市の中心的な繁華街でしたが、昭和20年8月6日に人類史上初めて落とされた一発の原子爆弾により、一瞬のうちに破壊されました。被爆後、昭和24年8月6日に公布された「広島平和記念都市建設法」に基づき、爆心地周辺を恒久平和の象徴の地として整備するため、昭和25年から平和記念公園及び施設の建設が進められ、昭和30年に完成しました。

公園内には、原爆ドーム、広島平和記念資料館、平和の願いを込めて設置された数々のモニュメント、被爆したアオギリなどがあります。

出典：広島市ホームページ『平和記念公園について』<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/hiroshima-park/7480.html>



⑤原爆ドーム



⑥原爆ドームの説明を聞く平和特派員



⑦相生橋の説明を聞く平和特派員  
原爆投下は相生橋を目標にしたといわれています。



⑧皆さんガイドの方のお話を熱心に聞いていました。



### 原爆ドーム

原爆ドームのもとの建物は、チェコ人の建築家ヤン・レツルの設計により、大正4年広島県物産陳列館として完成しました。その後、広島県立商品陳列所、広島県産業奨励館と改称し、戦争末期の昭和19年からは内務省中国四国土木出張所、広島県地方木材株式会社など官公庁等の事務所として使用されていましたが、爆心地から約160メートルの至近距離で被爆し、爆風と熱線を浴びて大破しました。

ほぼ被爆した当時の姿のまま立ち続ける原爆ドームは、核兵器の惨禍を伝えるものであり、時代を超えて核兵器の廃絶と世界の恒久平和の大切さを訴え続ける人類共通の平和記念碑です。

人類史上最初の原子爆弾による被爆の惨禍を伝える歴史の証人として、また、核兵器廃絶と恒久平和を求める誓いのシンボルとして平成8年12月「世界遺産条約」に基づきユネスコの世界遺産一覧表に登録されました。

出典：広島市ホームページ『原爆ドームについて』<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/a-atomicbomb-peace/163434.html>

広島平和記念資料館ホームページ『平和記念公園・周辺ガイド』<http://www.pcf.city.hiroshima.jp/virtual/map/>

⑨平和の鐘の説明を聞く平和特派員



⑩平和の鐘には「世界は一つ」を象徴する国境のない世界地図が彫られています。



⑪原爆の子の像



⑫原爆の子の像の説明を熱心に聞く平和特派員



⑬原爆の子の像周囲の折り鶴ブースには、数多くの折り鶴が捧げられています。



⑭平和の灯（ともしび）



⑮原爆死没者慰霊碑（広島平和都市記念碑）



⑯原爆死没者慰霊碑の説明を聞く平和特派員



⑰原爆死没者慰霊碑へ黙祷を行いました。



⑱被爆したアオギリ



⑲教育の森公園に植樹した被爆樹木二世のアオギリは、この木の種から育った苗木です。



⑳平和記念資料館を見学する平和特派員





原爆ドーム前



被爆したアオギリ前